JAPA NEWS 2013年12月号

ステッカーを作成・配布

日本自動車部品協会（ＪＡＰＡ）は、新推奨制度において一新した推奨マークのステッカーを２種類作成し、このほど正会員・準会員に配布しました。

Ａ４サイズのステッカーを1400枚、Ａ７サイズのステッカーを2500枚、合わせて3900枚を作成しました。

Ａ４サイズのステッカーはＪＡＰＡ正会員27社の本社および営業所に、またＡ７サイズのステッカーは各社の営業車両に貼付し、ＪＡＰＡと優良部品をＰＲします。

また69社の準会員すべてにＡ４、Ａ７各10枚ずつを配布しています。

初回配布の反応を見たのち、追加作成も検討しています。ステッカーに関する問い合わせがありましたら事務局までご連絡下さい。

ＪＡＰＡ事務所でもステッカーで優良部品をＰＲ

レセプションに理事長が参加

11月23日から一般公開され12月１日まで東京ビッグサイトで行われた「第43回東京モーターショー」。今回は24年ぶりに会場を東京に移した2011年の第42回ショー以降、２回目の東京開催となりました。

青木理事長

一般公開前日の22日は特別招待日とされ、多くの関係者や来賓が訪れました。開幕式では東京モーターショー総裁の瑤子女王殿下が臨席、テープカットを行い、祝賀レセプションを開催しました。その祝賀レセプションにはＪＡＰＡの青木乙彦理事長も招かれ、出席しました。

またＪＡＰＡの準会員であるアイシン精機、曙ブレーキ工業、ＨＫＴ、大野ゴム工業、スタンレー電気、西岡可鍛工業、日本特殊陶業、ボッシュが出展し、それぞれの主力製品や先端技術等を積極的に発信するとともに、会場を盛り上げました。

推奨委員会と国内実務者会開催

12月５日、都内のエンパイヤビルで推奨委員会と国内実務者会を開催しました。

推奨委員会は、エンパイヤ自動車の牟田健専務執行役員が委員長を務めており、明治産業・ＳＰＫ・みづほ自動車興業・ミヤコ自動車工業・シカゴプロダクトインコーポレイテッド・大和産業・日新自動車・辰巳屋興業から委員が選出されています。

これまで約３カ月に１度、委員会を開いており、自動車優良部品推奨制度の円滑な運用を進めています。

５日は推奨委員に加えて国内実務者も集まり、準会員への推奨申請案内の方法などについて会議を開きました。